

## 58. 被服材料よりみた工作に関する研究

### —布地別による衿の裁ち方—

#### 第1報 肩線について

昭和女子大 刑部 昭子

堀津富久子

1. 従来の衿は、経・緯・斜の三布目により裁断されて来た。しかし個人別に肩のながれが異り、更に材料による布の伸びの違いも加わるため、頸にそった衿を縫製するのに今迄の方法で適当か否か疑問が生じて来た。そこでこれ等を包含して布目による衿の裁断について研究するにあたり、今回は一定数の被検者を対象にして、肩下り分量及び肩の厚みなど生体計測して、肩のながれについて検討したのでその結果を発表する。

2. まず一定数の被検者について N. P. と肩峰点に標をつけ N. P. より水平にした線から肩峰点における左右の肩下り、肩の厚み、それに体重を計測した。

3. これ等により、各種原型についての肩下りを検討し、計測に基いた肩下り寸法について被検者に着用実験を行い、それによって適当と思われる肩下り寸法を見出した。